

平成30年度当初予算の概要

岐阜県 池田町



池田町マスコットキャラクター
ちゃちゃまる

1. 当初予算規模

当初予算額(案)

	平成 30 年度	平成 29 年度
一般会計	92億 8百万円	81億92百万円 (対前年 12.4%増)
特別会計	43億28百万円	46億 6百万円 (対前年 6.0%減)
計	135億36百万円	127億98百万円 (対前年 5.8%増)

*平成 30 年度当初予算の概要(計数編)10 ページ参照

一般会計当初予算額は、92 億 800 万円で、前年度と比べて 10 億 1,600 万円(12.4%)の増加となりました。

特別会計(上水道除く)を含む全会計当初予算総額は、135 億 3,600 万円で前年度比 7 億 3,800 万円(5.8%)の増額となります。

増額となった要因としては、片山保育園建設事業及び南部リサイクルセンター建設事業の実施や、学校給食費負担金などによるものです。

歳入については、景気の持ち直しを反映して、町民税が増加するものの、固定資産の評価替えや町内企業の償却資産の減少によって固定資産税が減少する見込みであり、町税全体としては 5,516 万円の減額となっています。また、南部リサイクルセンター建設事業に伴い、国庫支出金で 1 億 7,309 万円、繰入金では、ふるさと支援まちづくり基金繰入金で 3 億 5,700 万円、学校給食費などの諸収入で 1 億 4,067 万円、町債では、片山保育園建設及び南部リサイクルセンター建設事業債などにより 3 億 8,850 万円の増額となっています。

なお、寄附金のふるさと納税については、前年度と同額 5億円を見込んでおります。

歳出については、片山保育園建設事業及び南部リサイクルセンター建設事業の実施により、建設事業費は、6 億 771 万円の増額。また、学校給食費負担金、子どものための教育・保育給付費及び養老線管理機構負担金などの増により、負担金補助及び交付金が 3 億 3,181 万円の増額、障害者自立支援給付事業給付金などの扶助費で 9,270 万円の増額となっています。

今年度より小水力発電事業を特別会計に追加します。

2. 平成 30 年度の施策方針

平成 30 年度は、南部リサイクルセンターの建設と片山保育園の建設を行います。

また、子育て就労・応援センターの完成により手狭であった八幡児童館で行っている児童館事業と児童クラブ事業を分け、児童館事業を子育て就労・応援センターへ移動させることで、利便性を向上させ、子育て環境の充実に図ります。また、子育て世帯の働きたい、更に働く希望のある人に就労の機会を提供し、子育て環境の改善ができるように支援業務を行います。

当初予算では、昨年と同様に地方創生事業の継続を進め、移住定住対策に重点を置き、町内の空き家を取得して居住する方には5年間固定資産税を免除するほか、改修費の一部を助成し、居住者の中に子どもがいる場合は1人につき2万円の加算を行います。なお、宮地地区にあっては、空き家だけでなく新築による居住であっても固定資産税の免除を行うなどの優遇措置を設けることとします。

平成 32 年度からの「池田町第六次総合計画」に向けて、今年度より計画審議会を立ち上げ、アンケート調査等を実施していきます。

また、養老鉄道支援事業では、(一社)養老線管理機構の運営を支援することなどで、養老線の活性化に取り組んでいきます。

地方創生については、昨年度から行っている大津谷公園整備を継続し H29 バーベキューガーデン整備を行い、H30 は施設内のトイレを1棟建替えし、桜山館の改修を行います。

昨年度開設したまちづくり拠点「霞溪舎(かけいしゃ)」(池野駅駅舎)を活用して、まちづくり事業や移住定住促進事業を推進していきます。

観光については、昨年に引き続き、池田まるっと体験交流ツアー事業としてレンタサイクルを活用した体験ツアーを企画、実施していきます。また、池田温泉においては、総入浴者数1050万人を達成する見込みであり、これを記念したイベントを実施して、さらなる利用者増を図っていきます。

学校教育については、老朽化した池田中学校校舎の大規模改修を平成29年度から3カ年かけて実施していきます。また、中高生海外派遣事業や外国語活動支援講師等の派遣は継続し、英語教育の充実に図るため、4泊5日でオールイングリッシュの合宿を実施します。

平成 30 年度より農業水利施設のもつ包蔵(ほうそう)水力を利用した小水力発電事業を行い、土地改良施設や農村振興施設の維持管理費節減による地域経済の安定及び農村の振興への寄与、CO2 排出削減による低炭素社会づくりの推進を図ります。

事業費は約25,800万円、最大50kwh、常時発電は41kwh、一般家庭およそ45軒相当の発電施設です。完成は2月下旬で、その後4月1日には、池田町へその管理運営が移ります。

3. 主な歳入歳出

歳入

名称	平成 30 年度	平成 29 年度	比較
町税	28 億 5,081 万円	29 億 597 万円	△5,516 万円
うち町民税	12 億 2,867 万円	12 億 574 万円	2,293 万円
うち固定資産税	14 億 5,600 万円	15 億 1,787 万円	△6,187 万円
分担金及び負担金	1 億 5,369 万円	2 億 2,052 万円	△6,683 万円
国庫支出金	7 億 8,096 万円	6 億 787 万円	1 億 7,309 万円
うち負担金	6 億 128 万円	5 億 2 403 万円	7,725 万円
うち補助金	1 億 7,463 万円	7 708 万円	9,755 万円
寄附金	5 億 1,030 万円	5 億 367 万円	663 万円
うちふるさと納税	5 億 万円	5 億 万円	0 万円
繰入金	7 億 5,900 万円	3 億 9,300 万円	3 億 6,600 万円
うちふるさと支援まちづくり基金繰入金	5 億 1,900 万円	1 億 5,300 万円	3 億 6,600 万円
諸収入	2 億 7,794 万円	1 億 3,733 万円	1 億 4,062 万円
町債	9 億 840 万円	5 億 1,990 万円	3 億 8,850 万円
合計	92 億 800 万円	81 億 9,200 万円	10 億 1,600 万円

歳出

節名称	平成 30 年度	平成 29 年度	比較
人件費	11 億 4,012 万円	11 億 1,036 万円	2,976 万円
扶助費	10 億 8,854 万円	9 億 9,584 万円	9,270 万円
負担金補助及び交付金	22 億 4,502 万円	19 億 1,366 万円	3 億 3,136 万円
うち負担金	18 億 6,965 万円	15 億 4,898 万円	3 億 2,067 万円
うち補助金	3 億 1,001 万円	3 億 124 万円	877 万円
委託料	10 億 5,270 万円	10 億 3,558 万円	1,712 万円
工事請負費	10 億 666 万円	3 億 9,005 万円	6 億 1,661 万円
備品購入費	5,920 万円	1 億 8,822 万円	△1 億 2,902 万円
積立金	1 億 7,105 万円	1 億 5,470 万円	1,635 万円
繰出金	7 億 8,544 万円	7 億 5,689 万円	2,855 万円
合計	92 億 800 万円	81 億 9,200 万円	10 億 1,600 万円

4. 主要事業

☆…新規 ◎…拡充 ○…継続

(1) 活力あるまちづくり 【524,678 千円】

☆子育て家庭支援事業【600 千円】

子育て家庭の支援として、妊婦健診等を受ける際の移動手段として利用したタクシー費用の一部を助成することにより、妊娠、出産及び育児にかかる身体的及び経済的負担を軽減し、必要な保健医療福祉サービスを受けることで孤立を防ぎ、安心した子育てができるよう支援していきます。

◎すくすく赤ちゃん券助成事業 【3,100 千円】

子育て支援施策として、出生届時におむつ・ミルク等の購入代として「すくすく赤ちゃん券」を第1子目には2万円分、第2子目には3万円分、第3子目以降は、4万円分と、「オムツ用 ゴミ袋」を交付し、子育て支援事業を行います。

☆霞間ヶ溪スポーツ公園 健康遊具設置【4,200 千円】

自然環境に恵まれた霞間ヶ溪スポーツ公園に、子供向けの遊べる遊具や老人向けの健康遊具など新しい遊具の設置を行います。

○100 歳まで働ける「BABAラボ岐阜池田」創出事業 【2,200 千円】(地方創生)

一昨年度、企業・団体を対象にアイデアコンペを実施し、選定されたラッキー工業(株)の提案事業を引き続きサポートする。雇用の場(孫育てグッズを製作する「BABAラボ岐阜池田」)を創出したなかで、単なる雇用の場にとどまらず、お年寄りが生きがいをもって活躍し、地域の人と繋がれる場、子育て支援、学びの場づくりを進めて行きます。

○移住定住促進事業 【1,766 千円】(地方創生)

町内への移住を推進するため、日帰り体験を企画、開催します。

また、首都圏等において開催される移住促進関連イベントに出席し、PRを行います。

○Uターン・Iターン支援事業 【2,500 千円】

昨年より引き続き、子育て世代の移住・定住を増やし、併せて町内にある空き家の縮減を図るため、空家台帳登録の家屋を取得し、改修を行う費用の一部を助成するほか、固定資産税の免除を行う。宮地地区においては、空き家だけでなく新築による居住であっても固定資産税の免除を行います。

○まちづくり工房事業 【5,274 千円】(地方創生)

まちづくり拠点「霞溪舎」を中心とした町民参加のまちづくりを推進し、その施設を引き続き指定管理により運営を行います。

○町の人財を活かした地域コミュニティの活性化事業【727 千円】(地方創生)

池田町内のいろいろな技術、能力を持った達人を発掘し、その方々から学び体験するプログラム・講座を開催することで学校・職場・自治会以外の人とつながる機会をつくり、多世代間交流が行えるようにします。

○若者コミュニティの活性化事業【440 千円】(地方創生)

町役場職員・町民メンバーで「同窓会応援実行委員会」を運営し、若者が気軽に集まれるイベントの開催を支援し、コミュニティの活性化を図るとともに異性と話す機会や結婚を考える機会をつくることで結婚へつながるようにサポートを行います。

○第六次総合計画策定業務【2,500 千円】

平成 32 年度から始まる「池田町第六次総合計画」を作成する。計画審議会を立ち上げ町民アンケートを実施し、ニーズ調査を行います。

○ふるさと納税推進事業【500,000 千円】

池田町を応援してもらう啓発等を行い、特産品等の返礼を準備し、併せて町の PR を行って、ふるさと納税推進を図ります。

○町民くらしづくり活動団体支援金事業【400 千円】

まちづくりなどを自ら積極的に行おうとする団体の設立や活動を支援します。

☆道の駅無線 LAN 整備事業【231 千円】

スマートフォンの利用率は 20～30 代では 9 割を超え、全世代でも 7 割を超える昨今、旅行など移動生活の中でスマートフォンやタブレットは欠かせないアイテムとなっている。そのため、道の駅に無料で利用できる Wi-Fi 設備を整備し、ストレス無くネットに接続できる環境を充実させて、集客の増加や滞在時間の延長化を図る。

☆図書館くつろぎ環境整備事業【640 千円】

図書館 1 階サーカスホール飲料スペースのエリアを拡大し、児童開架の幼児向けスペースの整備を行います。

☆偉人等マンガによる情報発信調査事業【100 千円】

町の偉人、史跡を漫画で PR するための調査・研究を行います。

(2)観光関連事業【20,530 千円】

☆霞間ヶ溪霞橋道路概略計画策定業務【2,000 千円】

霞間ヶ溪公園周辺の交通量緩和、桜木の保全等を図るため、ふれあい街道の迂回ルートの概略計画を策定します。

☆宮地地区土地利用計画策定業務【2,000 千円】

宮地地区への移住・定住に資する土地の調査及び利用計画を策定します。

☆大津谷公園トイレ改修工事 【13,000 千円】

大津谷公園利用者の利便性を上げるために、バーベキューガーデン西のトイレ改修を行います。

☆桜山館改修事業【5,000 千円】

桜山館利用者の利便性を上げるためにトイレ改修及び給湯室改修を行います。

○池田・揖斐川レンタサイクル推進協議会負担金 【899 千円】(地方創生)

養老線の利用促進と広域観光推進のため、レンタサイクル事業を引き続き行う。好評である「マチュピチュクーポン」に必要なオリジナルタンブラーの購入やその PR 事業分を支援します。

○町マスコットキャラクター「ちゃちゃまる」事業 【680 千円】

池田町の活性化とPR活動の充実のため、誰からも親しまれ愛されるマスコットキャラクターになるよう努め、HPや各種イベントなどに活用します。

◎池田まるっと体験交流ツアー創出プロジェクト 【303 千円】(地方創生)

池田山麓付近を中心とした体験・交流ツアーを設定し募集していく。また、池野駅駅舎「まちづくり工房」と「道の駅 池田温泉」にレンタサイクルを各10台配置して池田町を周遊し、満喫してもらいます。

○町民による池田の魅力発信事業 【648 千円】(地方創生)

池田町民に編集委員会・町民特派員の募集を行い、池田町の情報冊子「いけ本」を編集、作成してもらい、町民自身が池田町の魅力や良さに改めて気づく再発見を図ります。

(3)教育関連事業 【361,755 千円】

○池田中学校南舎大規模改修(第Ⅱ期)事業 【211,497 千円】(H29 繰越事業)

池田中学校南舎大規模改修(第Ⅱ期)事業を実施し、教室を木質化と空調設備を改修し教育環境の改善を図ります。3ヶ年事業の2年目

☆小学校入学お祝い金及び中学生夢交付金事業【4,950 千円】

今年度より、新入学児童に対して入学お祝い金交付支援事業として、またキャリア教育の一環として中学3年生に夢交付金事業としておのおの1万円支給し、子育てを支援します。

○池田町大野町学校給食センター協議会運営費 【90,475 千円】

新しく設置された池田町大野町学校給食センター協議会へ負担金を支出し、池田町及び大野町内で給食事業を行います。

○特別支援教育支援事業 【20,581 千円】

学習や学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する学級に対して、指導助手として、特別支援学級に支援員、通常学級にアシスタントを町独自で配置し、誰もが安心して学べる環境を整えます。

支援員 配置校:温知小5人、八幡小1人、池田小1人、池田中1人

アシスタント 配置校:温知小3人、八幡小2人、宮地小3人、池田小2人

特別教育支援アドバイザー:1人

○外国語活動推進事業 【14,084 千円】

ALT (Assistant Language Teacher) のほか、町独自に講師を 3 人配置し、小中学校における英語授業の充実を図ります。

また、今年度は 4 泊 5 日でオールイングリッシュの合宿を行い英語教育の充実を図ります。

○海外派遣事業 【2,900 千円】

中高連携した外国語活動の一環として中学生10人、高校生5人をニュージーランドへ派遣し、ホームステイや福祉施設訪問を行い、グローバルな人材を育てます。

○少人数学級指導支援事業 【10,156 千円】

一定数以上(30人以上)の学級を対象に、町単独で講師を配置し、学習集団を1学級増やして、よりきめ細やかな少人数指導を行います。

対象校:温知小4人、八幡小4人

○池田町版体験キャリア教育の深化プロジェクト 【7,112 千円】(地方創生)

キャリア教育コーディネーター2名が、池田町の教育について現場教師とともに新たな職場体験のあり方や企業展について考え、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れる仕組みを作り、地元を知る喜びや町への愛着を育むことを目指します。

また未来の池田町をになう中学生と池田高校生に対して英検や漢検等の資格取得に対して助成を行うことで学生の社会で活躍する土台形成を図ります。

(4)生活基盤関連事業 【1,264,085 千円】

☆分譲宅地開発町道整備事業 【3,500 千円】

民間事業者が、土地開発協議に伴い宅地分譲の際の位置指定道路等については、町においてアスファルト舗装を施工することで、分譲並びに移住・定住の促進を図ります。

◎高齢者の移動手段確保対策事業【1,085 千円】

養老線マイレールチケット 21(回数券)の割引を、75 歳以上から 65 歳以上へと緩和します。

また、自動車運転免許返納者へは、引き続き、マイレールチケット 21(回数券)を2年間で4回まで無料配付します。

○養老線管理機構関連事業【118,927 千円】

一般社団法人養老線管理機構への負担金、補助金、寄付金(115,340 千円)や養老鉄道利用促進事業助成金(1,085 千円)、養老線各駅管理料(1,482 千円)等を支払います。

○コミュニティバスの継続運行【20,032 千円】

コミュニティバスの継続運行を行い、町内の安全な移動手段を基本とし利用者の増加と利便性の向上を図るためマイクロバス2台ワゴン車1台で4路線、31便/日を運行。バス停等の見直しを行い、利便性の向上を図ります。

(平成29年度利用者数は、18,222人)(1月末日現在)

☆片山保育園建設事業費【407,000 千円】

片山保育園は、昭和51年4月に開園以来、40年が経過し、建物の経年劣化により建て替えを余儀なくされる状況となり、平成28年度用地買収、基本設計等、平成29年度実施設計を行い、事業を進めてまいりました。今年度は、片山保育園建設工事請負費、工事監理業務委託料等を計上し、平成31年1月から新園舎での保育開始します。

○福祉医療扶助事業 【266,008 千円】

子どもの医療費を無料化にすることで、子どもを持つ世帯は平等に医者にかかることができ、子どもの病気の重篤化を防ぐことができます。

	対象(人)	予算額(千円)
乳幼児扶助	1,034	45,587
児童・生徒扶助	2,101	86,707
高校生等扶助	759	23,011

○病児・病後児保育事業 【5,030 千円】

子どもが病気にも関わらず、仕事や冠婚葬祭等により家庭で看護ができない保護者に代わり、一時的に「病児・病後児保育施設 ひまわり」において児童を預かります。(登録者 447 人)

なお、3人以上子どもがいる世帯の利用は無料としています。 対象人員125名

○放課後児童クラブ事業 【35,588 千円】

仕事などの事情により、昼間保護者が家庭にいない小学生の児童に対し、放課後や夏休み等の長期休暇中、保護者に代わり、適切な遊びや生活の場を小学校毎に開設します。対象を小学校6年生までとします。利用予定者数:191 人

○緊急通報装置設置事業 【731 千円】

75歳以上の独居高齢者等の急務、事故等の緊急事態に対応するため緊急通報装置を設置します。

☆南部リサイクルセンター建設事業 【288,684 千円】

南部リサイクルセンターを建設し、資源ゴミの回収を進めます。

○社会資本整備総合交付金事業 地域基盤整備工事 【37,000 千円】

本郷 15 号線交差点改良	20,000 千円
橋梁修繕	17,000 千円

○道路改良工事 【41,000 千円】

下東野 10 号線	下東野地内	3,200 千円
萩原 36 号線	萩原地内	11,700 千円
片山村中線	片山南地内	12,000 千円
片山北 19 号線	片山北地内	3,900 千円
池野 3 号線	青柳地内	3,400 千円
本郷 28 号線	北池野地内	6,800 千円

○都市再生整備計画事業(願成寺地内) 【20,000 千円】

舟子 1 号線(ふれあい街道)の危険箇所を改修し、交通の安全を図ります。

L=240m、W=6.5m

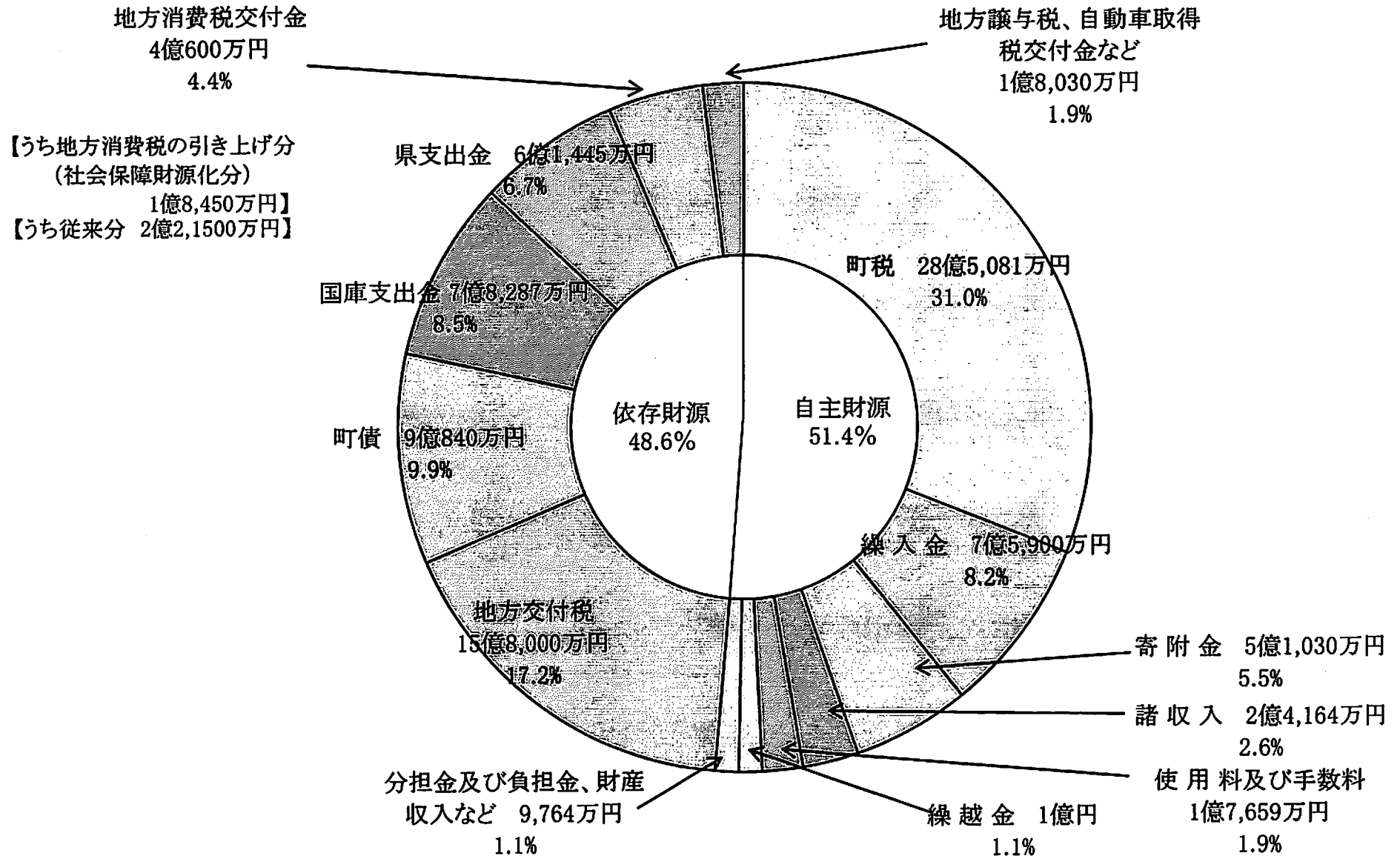
○橋梁維持修繕 【12,500 千円】

道路法施行令の改正に基づき橋梁点検を行い、橋梁塗装5橋、自主点検を53橋行います。

○小水力発電事業【7,000 千円】(小水力発電事業特別会計)

農業水利を活用し、再生可能エネルギー発電(小水力発電)事業を行います。売電収入により、農業用施設の維持管理費節減を図ります。

平成30年度一般会計歳入構成表(予算総額92億800万円)



平成30年度一般会計歳出款別構成表(予算総額92億800万円)

